

## &lt; 運営推進会議における評価\_様式例 &gt; ※公表用

## 【事業所概要】

法人名	医療法人社団 洛和会	事業所名	看護小規模多機能サービス壬生
所在地	(〒604-8852) 京都市中京区壬生東大竹町4-4番地1		

## 【事業所の特徴、特に力を入れている点】

多機関との連携を図り、地域内外の医療ニーズの高い利用者様の受け入れを行っている。  
地域とのかかわりを持ち、ご利用者が安心して在宅生活が送れるように援助に努め、ご家族様とご利用者様への相談援助に力を入れている。

## 【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2022 年 1 月 28 日	従業者等自己評価 実施人数	( 15 ) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

## 【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2022 年 4 月 23 日	出席人数 (合計)	( 6 ) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 ( 4 ) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 ( ) 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 ( 1 ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 ( ) 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 ( ) 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 ( ) 人 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	内部研修の参加、外部研修もZOOM研修にて参加できるようにする。	ZOOM を活用し外部の研修に申し込み 個人目標研修計画の作成	目標計画に基づき、目標の研修に参加できた。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	事前ミーティングの継続。できるだけ職員もミーティングに参加できるよう勤務に配慮する。	事前ミーティング用紙の配布。 事前用紙があることで、普段言えない意見が言える機会となった。事前に議題がわかることで意見を考える時間ができた。	
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	利用者担当をつけることで担当利用者の把握、モニタリング、カンファレンスを行い多職種で支援する。	担当のモニタリングの時期にケアマネと事前カンファレンスをおこなった。	担当がつくことで、ご利用者のアセスメントを意識して行えた。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ガーデニングを継続。近所の子供たちや地域の方、ご利用者に笑顔になってもらう	ご利用者の水やり役割ができ、暖かい日には花をみながら過ごせた。フロアにも花を飾った。	花があることでご利用者も笑顔がみれた。近所の保育園児が散歩の際に写真を撮ったり、近所の方から声をかけられた。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	看取り介護の継続。看取りについての研修にも参加する。	看取り介護は1件行った。医師が看取りについて研修し参加できた。	研修をすることで利用者がどうすれば良い最期を迎えられるかを職員一人一人考えてケアすることができた。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	外部の研修はコロナウイルスの影響もあり参加できないことが多くあった。ZOOM研修でも勤務調整がつかず参加できていなかった。内部研修については動画にて参加のため参加できていた。	横のつながりができるよう、管理者。ケアマネだけでなく一般職員も外部研修に参加する。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	利用者の ADL の低下や変化に気づき、ミーティングでカンファレンスを行う。ミーティング用紙の活用は継続。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	担当制をつけることでご利用者を意識することが深まった。ケアマネも担当があるとカンファレンスもしやすかったと意見があった。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	ガーデニングの継続。利用者、地域の方々に喜んでいただける花壇を作成する。ブログの更新で事業所を知ってもらう。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	看取り介護を行うことができた。 主治医の先生からの研修にも参加。外部の看取り研修にも参加した。	看取り介護の継続。看取り時にその利用者さんの最期について職員間で話し合いを行う。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します